

<生きる意味>を求めて

日時 **2月17日** 2014(平成26)年
日(月) 13:30~15:00

会場 **聞法会館** 3階研修室①
京都市下京区堀川通花屋町上ル(西本願寺北側)

- <http://monbou.jp>
- 市バス「西本願寺前」より徒歩5分

講師 **三谷尚澄** 信州大学人文学部准教授

参加費 **無料** 申込不要

浄土真宗本願寺派総合研究所では、2007年より、死別にあつわる悲嘆のケアをテーマとする講演会「別離の悲しみを考える会」を開催してまいりました。

第9回目となる今回は、これまでの臨床的な課題の根底に存在する「生きる意味」や「苦しむことの意味」など、死生観と深く関わる問題について、三谷尚澄氏よりご講演をいただきます。若年層の自死や「生きる意味」の喪失が、近年の社会において問題とされる中、私たちは念仏者として、より幅広い視点からこの問題に向き合う必要があります。そうした諸課題に取り組むため、皆さまとともに考え、基本的な視点を共有させていただき、これからの活動につなげてまいります。

それでも、生きていく。



三谷尚澄

(みたになおずみ)

1974年三重県に生まれる。1997年京都大学文学部卒業。2002年京都大学大学院文学研究科博士

課程単位取得退学。2006年文学博士(京都大学)。現在、信州大学人文学部准教授(専攻/西洋哲学・倫理学)。著書に『若者のための〈死〉の倫理学』(ナカニシヤ出版、2013)。